



孫育ての新常識 じいじ・ばあばの役割（子育ての常識いまむかし）

時代の流れとともに子育ての常識も変わってきます。今回は、じいじ・ばあばの役割第2弾として、知っておくとじいじ・ばあばにとってもパパママにとっても得する孫育てについてお知らせします。

じいじ・ばあばが孫育てで、気を付けるといいこと

乳
児
期

自分が使ったスプーンや箸で食べ物をあげないで！…大人が使った箸やスプーンを使うとその人の持っている虫歯菌に感染する可能性が高くなります。

離乳食…離乳開始前の子の最適な栄養面は母乳やミルクであり、果汁などは栄養学的には必要ありません。生後5～6か月頃から「なめらかにすりつぶした状態のおかゆ1さじ」から離乳食を始めましょう。

人見知りは、順調に発達している証…孫を抱こうとしたら大泣き。これは、知恵がつきパパママとほかの人との区別がつくようになってきた証。根気よく遊んであげましょう。

幼
児
期

パパママにもプラスの言葉かけを！！…自我が芽生えイヤイヤ期に突入し、思うようにならない子育てに悩み、自分の子育てに不安を抱く時期。頑張っているパパママに「子育て頑張ってるね」「あなたはよくやってるよ」「いい子に育ってるね」と声をかけてあげましょう。

発達が心配、でも…「まだ歩かないの？」「言葉がまだ出てないのね」といった何気ない一言がパパママの心にグサリ。成長には個人差があります。他の子と比べたりせず、その子なりの成長を見守ってあげましょう。

ママが仕事を始めたら…仕事をしながら子育てをするのは大変なこと。子どもの世話と家事の両立に悩むこともあります。そんな時こそ何をサポートしたらいいかを聞いて、お願いされたら快く手伝うというスタンスでサポートしてあげましょう。

学
童
期

ほめる…パパママは、わが子への期待感や思い入れが大きい分、できることよりできないことを叱ってしまうことがあります。「〇〇ができるの？すごいね」「〇〇してくれて、助かったよ」「〇〇は、いい子だね」などと、どんな小さなことでもいいので、気づいたときに褒めてあげましょう。子どもの自己評価も高くなり、うれしい気持ちでより頑張れます。

パパママが、じいじ・ばあばにしてもらって嬉しかったことベスト5



第1位

祖父母が子どもと一緒に遊んでくれた時

第2位

どうしても外せない用事ができた時に快く面倒をみてくれた時

第3位

自分が病気になった時、子どもの面倒をみてくれた時

第4位

他の子と比べず、できることを認めてくれた時

第5位

今と昔の子育ての常識の違いを分かって接してくれた時

じいじ・ばあばが孫と一緒にやって楽しかったことベスト5



第1位

孫が「抱っこして～」などと言って甘えてくる時

第2位

おもちゃで遊んだり、孫と一緒に手遊びやふれあい遊びをする時

第3位

孫と一緒に散歩をする時

第4位

孫に好きなものをプレゼントして喜ぶ姿を見た時

第5位

孫と一緒に公園や遊園地などで遊ぶ時

* 9月に実施したアンケート結果より



母子健康手帳を受け取られてから、子どもさんが18歳に成長するまで「妊娠から子育てのこと」を一緒に考えていきましょう！ いつでも訪ねてきてください。

お電話でもOKです。Tel 0533-56-2305